

教科目名 美術 (Fine Art)

学科名・学年 : 1年 全

単位数など : 必修(選択) 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教官 : 足利 桂子

授業の概要		
<p>人間には、美的感性にあふれた創意と、それを表現したいと思う気持ちが本能的に備わっている。自らの手を通し考え、想像し、構成し、感動を持ち創り出す活動の中で全人的な創造力や感性を高めることを目標とする。</p>		
到達目標		大分高専目標 (A1), JABEE 目標(a)
<p>(1) 表現する行為を重点に創意的、独創的でセンスにあふれた表現の喜びを知る。 (2) 自己の表現に没頭し、自分が発見した方法で限らない夢を表現しようと試みる。 (3) 美術に親しみ、愛する心を身につける。</p>		
回	授 業 項 目	内 容
1	1. 形の表現 (1) 一点透視法, 二点透視法で立方体を描く 陰影の表現	<ul style="list-style-type: none"> 一点透視法, 二点透視法で立方体が描ける。 陰影による立体感の表現ができる。
2~4	2. 一点透視法, 二点透視法のどちらかで自由な形を描く (1) すべてが 90° でつながる立体 (2) 斜面, 曲面をもつ立体 (3) 斜面, 曲面が加わった立体	<ul style="list-style-type: none"> a, 形が創意的に工夫されているか b, 前後, 左右, 上下, 大小等のバランスは取れているか c, 透視法に間違いはないか a, b, c に注意し立体を描くことができる。 陰影をつけて完成させる。
5~6	見て描く「石膏のある静物デッサン」 石膏, 牛骨, 布等のモデルを描く	<ul style="list-style-type: none"> モデル(対象)の大づかみな形の理解ができる。 形を確かめ面にとらえ, 明暗の調子を見, 陰影をつけ立体感をだすことができる。 細部を描きこみ, 全体のボリュームを見る。 最後までモデルを見つめ完成させる。
7~8	1. デザイン「構成と色彩」 (1) 配色練習	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な配色(有彩色と無彩色, 色相, 明度)ができる イメージによる配色(暖色, 寒色, 派手, 地味)ができる。 配色の効果をj知る。(漸増, セパレート効果) ハーモニー(調和)のある構成ができる。 バランス(釣り合い)のある構成ができる。 リズム(律動)のある構成ができる。 色彩を考え完成させる。 専門工学のイメージを言葉で表現する。 専門工学のイメージを自由に絵で表現する 言葉と絵のおもしろさ, 美しさを考え形を単純化しユニークなパターンを創り出す。 イメージに合う色彩を見つけ完成させる。 新しい表現の美術作品にふれてみる。
9~10	(2) 構成練習	
11~14	2. それぞれの専門工学(機械, 電気, 制御, 土木)のイメージをデザインする	
15	3. 鑑賞 現在美術の展覧会を観る	
履修上の注意		演習プリント及び課題作品の提出期限を厳守すること 用具の準備, 保管には各自十分責任を持つこと
教科書		
参考図書		表現の手がかりとなる資料は教師の方で適宜準備する。
関連科目		設計, 製図, 工業デザイン, 建築デザイン, その他創造性を要する科目
評価方法		課題作品 × 0.8 + 演習プリント × 0.2